

市議会だより

9月定例会

- 令和3年度一般会計補正予算案を可決
- 令和2年度一般会計・特別会計・公営企業会計の決算を認定

目次

議案の審議	②
委員会の審査	③
令和2年度決算の概要及び審査	④・⑤
議決結果・人事案件	⑥
市政に対する一般質問...⑦～⑭	
意見書等	⑮
市議会案内板	⑯



議案の審議

9月定例会は、9月3日から9月28日までの26日間開かれ、市長提出議案19件、決算認定案件11件、議員提出議案2件、その他1件について審議等を行い、すべて議決いたしました。

○の中の数字は議案番号（順不同）

9月定例会

市長提出議案

⑤⑤ 専決処分の承認を求めることについて（令和3年度飯能市一般会計補正予算（第5号））

歳入歳出予算に、それぞれ3898万2千円を追加し、総額をそれぞれ305億7651万3千円とするもの。

問 専決処分となった経緯は。

答 新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金に係る国の補助交付要綱が6月30日に発出され、速やかな対応を図るため同日付けで専決処分し、7月1日から申請を開始した。

⑥② 飯能市個人情報保護条例の一部を改正する条例

個人情報の保護に関する法律及び行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部

が改正され、及び独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律が廃止されたことにより、各法の規定を引用する条項を整理するため提案するもの。

問 法律改正の背景は。

答 個人情報保護については、対象が国の行政機関、独立行政法人等、民間事業者の3つの法律に規定されていたが、災害時の個人情報の取扱い等に関し共通の規定に基づく運用が求められるため、1つにまとめることとなった。

▼討論▲
反対の立場

法律を一元化することで先進的な規制をした自治体独自の基準が引下げられ、今後、自治体の個人情報外部提供される心配もあること等から、反対する。

賛成の立場

法改正に対応した条例改正を行わないと、引用している文言が法律と整合しない状態を是認することになるため条例改正は必要不可欠であり、賛成する。

⑥⑤ 令和3年度飯能市一般会計補正予算（第6号）

歳入歳出予算に、それぞれ7億2030万1千円を追加し、総額をそれぞれ312億9681万4千円とするため提案するもの。

問 公有財産管理運用事業の内容は。

答 旧東吾野小学校について、令和元年台風第19号の影響による土砂の撤去や雨漏り等の修繕工事を施設の借受け予定の学校法人早稲田学園に負担金として支出するもの。



旧東吾野小学校

問 レスパイトケア事業補助金の増額理由は。

答 在宅で介助する家族のた

めのデイサービスを実施する障害福祉事業所が、今年度大河原地区に初めて開設され、利用の伸びが見込めるため。

問 岩沢地区整備事業の増額理由は。

答 国庫支出金の内示額が当初見込みを上回るものであり、本市の道路整備への取組が評価されたと考えている。

問 長期借入金償還金の利率見直しについて。

答 平成22年度に借入れた臨時財政対策債について、借入れ条件により利率見直しを行い、今後10年間の利子負担が約7270万円の軽減となる。

⑥③ 財産の減額貸付について

旧東吾野小学校の土地及び建物を学校法人早稲田学園に減額して貸し付けるため提案するもの。

問 賃貸料の算定根拠は。

答 早稲田学園は地域貢献として校舎や校庭を住民に開放するため、電気料等を試算し、その相当額を基本額から控除する必要があると判断した。

委員会の

審査

議会に提出された議案や請願は、専門的により詳しく審査するため、総務教育、生活福祉、経済建設の3つの常任委員会に付託されます。9月定例会の主な審査内容は、次のとおりです。

○の中の数字は議案番号（順不同）

総務教育委員会

委員長 梶田博之
副委員長 武田一宏
委員 長谷川順子 中元太
野口和彦 新井巧
野田直人

⑤① 専決処分の承認を求めることについて（令和3年度飯能市一般会計補正予算（第5号））

● 国庫支出金の生活困窮者自立相談支援事業費等負担金は、114世帯を見込んだこと。

⑤② 飯能市個人情報保護条例の一部を改正する条例

● 国の行政機関、独立行政法人、民間事業者の3つの法律が一本化されても個人情報保護の基本的な考え方は変わらず、基本法として運用されること。

● 今後、国の説明やガイドラインが示されていく中で精査するが、本市の個人情報保護条例の規定が緩むことはないと考えていること。

（反対討論あり）

⑤③ 令和3年度飯能市一般会計補正予算（第6号）

● 普通交付税と臨時財政対策債について、当初予算で見込んだ額とほぼ同額であったこと。

● 旧東吾野小学校の工事について、学校法人早稲田学園は市内事業者からの選定を考えていること。

⑥③ 財産の減額貸付について

● 学校運営の視点から、開校に関する県への手続きは20年間の運営で進めていること。

● 将来的な施設の方向性は未定であり、貸付期間終了に伴う協議内容と考えていること。

生活福祉委員会

委員長 大津力
副委員長 内田健次
委員 熊田尚子 関田直子
金子敏江 加藤由貴夫

⑤④ 専決処分の承認を求めることについて（令和3年度飯能市一般会計補正予算（第5号））

● 生活困窮者自立支援金の対象世帯に案内等を送付し、8月10日時点で相談や連絡のない世帯には再勧奨し、丁寧な対応をしていること。

● 住宅確保給付金の支給決定がないことについて、新型コロナウイルスに対応した個人に対する支援策が整い、選択肢が増えたことから、他の支援策を利用していると分析していること。

⑤⑤ 令和3年度飯能市一般会計補正予算（第6号）

● レスパイトケア事業補助金の対象となる事業は、短期入所と日中一時支援であり、市内に開設された事業所は日中一時支援事業を行うこと。

● 放課後児童対策事業のうちICT化推進事業について、15クラブに対し上限50万円を計上したこと。

● 保健管理事業について、子どもの予防接種や検診状況を管理している健康管理システムで新型コロナウイルス感染症緊急センターの接種も管理ができるよう改修すること。

経済建設委員会

委員長 栗原義幸
副委員長 パタソンひとみ
委員 坂井悦子 滝沢修
鳥居誠明 加浦弘貴

⑤⑥ 令和3年度飯能市一般会計補正予算（第6号）

● 岩沢地区整備事業について、事業の見直しにより区画整理事業から除かれたエリアを地区整備計画に基づいて4m未満の道路を整備しようとするもの。

● 移住支援金について、国が就業等の要件を拡充したことから相談件数が増加し、増額補正となったこと。

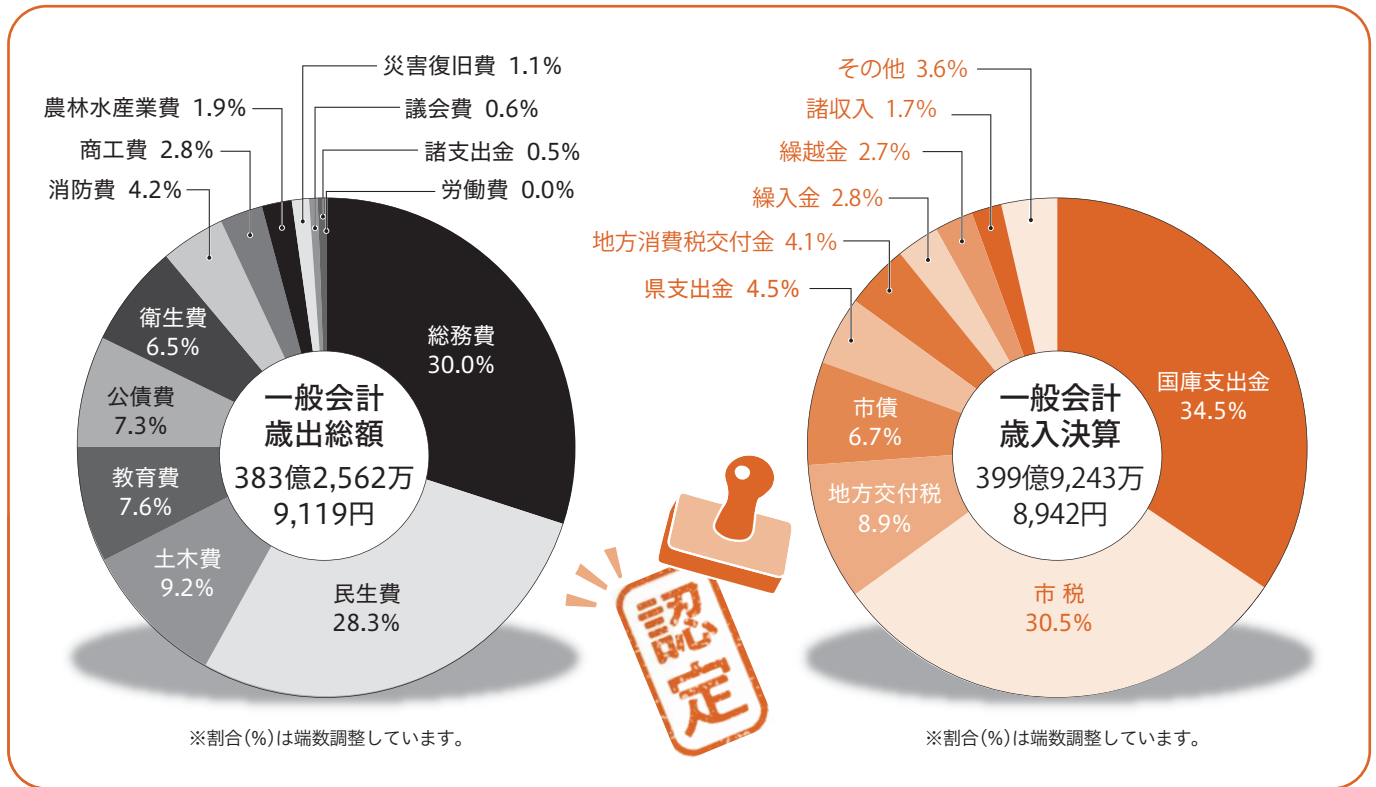
⑥④ 令和2年度飯能市水道事業未処分利益剰余金の処分について

● 水道事業の純利益が約2600万円減少した理由は、新型コロナウイルス感染症緊急経済対策により、基本料金を2か月分免除したことによる。基本料金の免除を実施しなかった場合には、若干の増収であったこと。

令和2年度 決算審査

今定例会に市長から提出された令和2年度一般会計、特別会計及び公営企業会計の決算について、歳入・歳出が正しく行われたか慎重に審査し、本会議、委員会でいずれも認定いたしました。

主な内容は次のとおりです。



討論

▼反対の立場

会計年度任用職員制度では処遇が改善されないこと、ノーラ名栗は公の施設として市民福祉の向上につながるとは言えないこと、GIGAスクールでは健康被害のチェック体制が不十分であること等から、反対する。

▼賛成の立場

会計年度任用職員制度はワークライフバランスの点からも効果があったこと、ノーラ名栗は内閣府が認定した地方創生事業であること、GIGAスクールはコロナ禍で活用領域が拡大し必要不可欠なツールであること等から、賛成する。

特別会計・公営企業会計も全て **認定** しました。

特別会計		歳入	歳出
国民健康保険(事業勘定)		83億4,956万8,690円	81億1,632万5,535円
国民健康保険(南高麗診療所勘定)		7,406万5,167円	6,175万5,155円
国民健康保険(名栗診療所勘定)		6,484万8,446円	6,059万3,799円
笠縫土地区画整理		6億2,983万2,003円	6億1,236万5,875円
双柳南部土地区画整理		1億8,395万5,386円	1億7,129万3,555円
岩沢北部土地区画整理		3億1,714万210円	2億9,136万1,524円
岩沢南部土地区画整理		9億5,219万3,639円	9億1,484万7,748円
介護保険		66億6,645万4,436円	63億542万6,970円
後期高齢者医療		10億3,296万6,053円	10億3,149万2,310円
訪問看護ステーション		5,584万2,080円	5,186万3,342円
公営企業会計		収入	支出
水道事業	収益的	18億4,756万9,149円	16億9,354万4,796円
	資本的	3億115万5,399円	8億2,175万5,776円
下水道事業	収益的	20億2,637万7,274円	17億9,919万9,655円
	資本的	10億3,990万8,695円	15億7,749万8,549円

一般会計

▲歳入▲

市税

問 コロナ禍による市税収入の影響は。

答 個人市民税、固定資産税、都市計画税は前年から増加したが、コロナ禍による業績の悪化により法人市民税が大幅な減収となった。

▼歳出▼

総務費

問 会計年度任用職員制度の効果は。

答 採用方法や勤務条件等が法文上不明確であったが、本制度の導入により制度的な基盤が統一的に定められたこと。

問 公共交通対策事業の進捗状況は。

答 精明・加治地区において、地域の方と事業者の協働により実現した乗合ワゴンの実証運行の開始と南高麗地区において、飯能リハビリ館の

送迎車両を活用した住民移送事業の実証運行を開始した。



乗合ワゴン

民生費

問 地域福祉推進組織の設立状況は。

答 原市場・名栗・加治東・吾野・東吾野・南高麗・美杉台の7地区で設立され、地域福祉の活動に取り組んでいるが、新型コロナウイルスの影響により、令和2年度に設立された組織はなかった。

問 子ども家庭総合支援拠点の運用状況は。

答 庁内関係機関や学校、児童相談所と緊密に連携し、児童虐待を未然に防ぐとともに

早期発見、早期対応に取り組み地域支援を実践している。

農林水産業費

問 ノーラ名栗の事業効果は。

答 入れ込み客数が前年度比で約63%増加し周辺観光施設にも好影響が出ていること、地域雇用が進んでいること、施設で使用する物資を市内業者から調達し地域経済への波及効果も生まれていることが挙げられる。



ノーラ名栗

教育費

問 GIGAスクール構想の状況は。

答 全ての小中学校でタブレットを活用し、主体的で対話的な深い学びに役立てているとともに学校への支援として研修会や授業サポートなど丁寧に行っている。

特別会計

国民健康保険

問 決算の特徴は。

答 本市の保険給付費は前年度と比較して約3億円の減であり、要因は被保険者の減少と新型コロナウイルスによる医療機関への受診控えなどである。

賛成の立場

一般会計からの法定外繰入金が減っている中で賦課限度額の引き上げをする必要はなかったこと、18歳までの子どもの均等割を廃止すべきこと等から、反対する。

賛成の立場

県の運営方針で補てん目的の法定外一般会計繰入金金は削減するとされていること、賦課限度額の引き上げにより低所得層の負担が軽減されること等から、賛成する。

公営企業会計

水道事業

問 県水が日量3500tとなり、本郷浄水場と小岩井浄水場の配水量はどうなったか。

答 水運用上に生じる差異は若干あるが、大きな増減はない。

反対の立場

水道料金基本料の2か月減免等は評価できるが、県水受水量を日量1000tにすること、入間川の水利権を維持すべきとの立場から、反対する。

賛成の立場

安全安心な水の安定供給のために県水は必要であること、水利権は水需要の動向を踏まえて協議すべきことから、賛成する。



小岩井浄水場

令和3年9月定例会 議決結果

■賛否が分かれた議案・認定

※表の見方：○は賛成の議員、×は反対の議員

議案番号	議案名	議席番号・議員名																		議決結果	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18		19
52	飯能市個人情報保護条例の一部を改正する条例	○	×	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	原案可決
認定1	令和2年度飯能市一般会計歳入歳出決算の認定について	○	×	○	○	×	○	-	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	認定
認定2	令和2年度飯能市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	×	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	認定
認定8	令和2年度飯能市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	×	○	○	×	○	-	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	認定
認定9	令和2年度飯能市訪問看護ステーション特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	×	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
認定10	令和2年度飯能市水道事業決算の認定について	○	×	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	認定

※中元太議員は議長のため、採決には加わっていません。

■全会一致の議案・認定等

※表の見方：議案番号の「議提」は議員提出議案の略

議案番号	議案名	議決結果
50	専決処分の承認を求めることについて（令和3年度飯能市一般会計補正予算（第5号））	承認
51	飯能市個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
53	飯能市手数料条例の一部を改正する条例	原案可決
54	飯能都市計画飯能茜台地区地区計画の区域内における建築物等の制限に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
55	令和3年度飯能市一般会計補正予算（第6号）	原案可決
56	令和3年度飯能市笠縫土地区画整理特別会計補正予算（第1号）	原案可決
57	令和3年度飯能市双柳南部土地区画整理特別会計補正予算（第1号）	原案可決
58	令和3年度飯能市岩沢北部土地区画整理特別会計補正予算（第1号）	原案可決
59	令和3年度飯能市岩沢南部土地区画整理特別会計補正予算（第1号）	原案可決
60	令和3年度飯能市介護保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決
61	埼玉県都市競艇組合規約の変更について	原案可決
62	市道路線の廃止について（大字下畑地内）	原案可決
63	財産の減額貸付について	原案可決
64	令和2年度飯能市水道事業未処分利益剰余金の処分について	原案可決
65	令和2年度飯能市下水道事業未処分利益剰余金の処分について	原案可決
認定3	令和2年度飯能市笠縫土地区画整理特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定4	令和2年度飯能市双柳南部土地区画整理特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定5	令和2年度飯能市岩沢北部土地区画整理特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定6	令和2年度飯能市岩沢南部土地区画整理特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定7	令和2年度飯能市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定11	令和2年度飯能市下水道事業決算の認定について	認定
66	令和3年度飯能市一般会計補正予算（第7号）	原案可決
67	教育委員会教育長の任命について（中村 力 氏）	同意
68	教育委員会委員の任命について（大澤 修 氏）	同意
議提2	飯能市議会基本条例の一部を改正する条例	原案可決
議提3	出産育児一時金の増額を求める意見書	原案可決
	議員派遣の件	派遣



大澤 修 氏

⑥⑧ 教育委員会委員の任命について
教育委員会委員横手伸行氏が任期満了となるので、新たに大澤修氏を選任することに、全員同意しました。



中村 力 氏

⑥⑦ 教育委員会教育長の任命について
新たに教育委員会教育長として中村力氏を任命することについて、全員同意しました。

人事案件



鳥居 誠明（無所属）

新井市長の目指す市政とは
中心市街地、道路問題
地域の課題、危機管理

- 問** 新井市長が目指す対話重視の市政とは。
- 答** 市長が自ら出向き、報告し市民の意見を聞く。
- 問** 中心市街地に森林文化都市らしさが感じられるまちづくりをするには再開発が必要では。
- 答** 再開発は市民が中心となり、行政は支援する。
- 問** 中央地区行政センターは山手用地へ移転を。
- 答** 移転や跡地利用は早い段階での検討が必要。
- 問** 飯能駅北口から東飯能駅の間保育所を。
- 答** 一時預かり的な施設も含め今後検討する。
- 問** 久下六道線は狭く危険。将来を考え検討を。
- 答** 8月に国と防災や無電柱化等を協議した。
- 問** 八高線阿須ガードと東側の交差点の進捗は。
- 答** ガードは令和5年度から着手したいとのこと。阿須小久保の交差点はガード工事後着手予定。
- 問** 飯能下名栗線はバスも通り狭く危険。改良を。
- 答** 曲竹地区の整備を優先し、他の箇所はその後。
- 問** セットバックの未舗装部は所有権残し舗装を。
- 答** 他市の条例も含め検討する。
- 問** 元加治駅南口開設はどのように進めるのか。
- 答** 入間市の計画に入れるよう入間市長に要望した。旧いるま野農協前の踏切廃止と一体で検討。
- 問** 精明地区の土地規制が厳しい。緩和策は。
- 答** 農地法、農業振興の法律、都市計画法の調整区域規制があるが活性化に向け努力する。
- 問** 南小畦川改修は残り約500m。5年で完了か。
- 答** 県では概ね10年程度で完成を予定している。
- 問** 中心市街地に指定避難所がないが検討状況は。
- 答** 旅館組合、大鵬薬品工業と災害時の協定締結。
- 問** 指定避難所にソーラーパネル、蓄電池設置を。
- 答** 課題もある。電気自動車所有企業と協定締結。
- 問** 阿須山中検証委員会の構成、時期、検証方法は。
- 答** 市長と職員数名で防災、環境等をできるだけ早く検証する。
- 問** 専門的知見が必要な場合もあると思うが。
- 答** 市で契約している技術顧問制度等を活用する。



久下六道線



市政に対する

一 般 質 問

一般質問とは、市の行政全般について市長（執行部）に対し、議員がそれぞれの視点から質問し、説明を求めるものです。

質問する議員は、質問内容を事前に通告します。

原稿は、質問者自らが執筆したものを発言順に掲載しています。今回は15人の議員が登壇しました。

一般質問の様子は、インターネット録画配信をしています。掲載されているQRコードから、該当議員の動画をご覧いただけます。

（ ）の中は会派名です。



梶田 博之（無所属）

元加治駅南口、コロナ対策、
柏木山の環境、ゴミ集積所、
高齢者の見守りについて

- 問** 元加治駅南口の進捗は。
- 答** 積極的に入間市や西武鉄道、駿大、国や県との連携を図り実現したい。
- 問** コロナ対策により、新規感染者は少なくなっても、患者が減ったわけではないということを皆に周知してほしいが。
- 答** 新規陽性者は幾分少なくなってきたが、まだまだ患者は多い。今後もワクチン接種を進めながら密や不要不急の外出を控えていただく。
- 問** 持続可能な社会を作るために飯能市としてはどのように進めるか。
- 答** まず、自治体が担うべき役割を改めて認識し取り組む。第一歩として総合振興計画の後期基本計画の策定本部で議論し、明確にしていきたい。
- 問** 柏木山周辺の環境については、最近特に良くない。立木へのペイントや、勝手に地名をつけたり、花壇を作ったりしているが、市はこのままで良いのか。
- 答** 市有地については、一部は認めてきたが、市有林に相応しくないものもある。地域関係者の意見を伺いながら対策を講じたい。
- 問** 市内のゴミ集積所については不適切などころがある。県道上に置いて通学路を塞いだりして歩行者が危険に晒されている。また、集積所が設置できないところは無理に玄関先などに設置するなど不適當などころが多い。改善すべきでは。
- 答** 昔は道路上に指導していたが、今は私有地に設置するようお願いしている。地元自治会などと相談しながら進めていきたい。
- 問** 民児協と社協で高齢者の静かな見守りを行なっているが、川寺ではそこに自治会も協力して新しい見守りの形「川寺モデル」がこの春からスタートした。全市域に拡げたいが。
- 答** まずは川寺モデルの構築を成功させて、他の地域の手本になってほしい。



柏木山の頂上付近



長谷川 順子（無所属）

阿須山中検証委員会のあり方
市内中学校に通級を新設
子どものワクチン接種を慎重に

- 問** 検証委員会のメンバーは市職員だけではなく、市民など第三者の参加は必須。参考人として前市長、前副市長、事業者、協力会社及び関係職員にも事実確認は必要不可欠。一般市民の傍聴も可能なのか、検証期間は。
- 答** 職員による組織を早い時期に設置し、検証における公平性、透明性はしっかりと守る。傍聴は確認・検証の場となることから考えていない。
- 問** 伐採木は市民の財産なのでは。
- 答** 市民共有の財産であると認識している。
- 問** サッカー場の申請は都市計画法逃れでは。
- 答** 改めて検証し、報告機会を設ける。
- 問** 市内中学校に通級指導教室を新設する予定はあるのか。
- 答** 生きづらさに悩む中学校の生徒に、通級による指導は、有効な取り組みの一つであると考えられる。今後、生徒や保護者の状況やニーズをしっかりと把握し、担当教員の育成も含め、中学校での通級指導教室設置について検討する。
- 問** いのちを守るためのアプリをタブレット端末に導入する予定はあるのか。
- 答** SNS利用の安全性、有効性、個人情報の保護、相談員の確保、教員の働き方など、様々な課題もあることから、本市教育委員会としては、各学校の委員で構成される“アプリ”検討委員会等で議論しながら、導入について検討する。
- 問** 子どもたちへのコロナワクチン接種は任意であるとの認識でよいか。
- 答** 接種を受ける方の同意がある場合に限り、ワクチン接種が行われるものである。
- 問** 山間地域でのごみ収集について、妊婦、高齢者、身障者の方への戸別収集の検討はあるのか。
- 答** 実施については、人員確保や収集体制の大幅な変更等多くの課題がある。福祉部門と連携し、本市の実情に合った実施方法を検討する。



工事車両の出入口となっている
阿須山中アミューズメントロード





内田 健次 (飯能みらい)

ノーラ名栗の検証について
公約チラシ“原市場特別版”
森林・林業施策について

問 ノーラ名栗は地方創生プログラムによる都市回廊空間整備事業の一環として名栗地区に北欧体験施設として開設した。内閣府の地方創生事業に応募し採択され交付金や補助金を国や県から獲得した。この財政支援を得て開設され順調に事業が進められているのになぜ検証の必要性があるのか。

答 施設の目的や事業を一部の市民に理解されていない。特に宿泊事業への参入に疑問や心配の声があり答えることが市政運営に必要。

問 一番の懸念は検証により、対外的には交付金の返還や国・県の関係者の努力に水を差し、市の評価が下がらないか。また内部的には検証委員会を立ち上げることで庁内を二分するのではないか。

答 国・県の支援については、確認作業により本事業が止まることは考えていない。あくまで事業効果の確認と市の取り組みを説明する。

問 公約チラシの赤工中自治会内の道路拡幅は、右岸道路の整備と捉えてよいか。

答 入間川右岸道路として重要な路線である小岩井元小岩井線の更なる整備を進める。災害に強いまちづくり実現のため、防災面で進めなければならない。

問 倉掛峠の改修については。

答 用地買収が完了している原市場方面から倉掛峠への進入口付近について整備を進めるよう指示した。

問 森林・林業再生に向けて大林組との連携内容は。

答 連携協力事項は、①循環型森林利用②西川材の需要拡大③木材コンビナート④多面的活用⑤森林共生都市の構築による地方創生である。

問 木材コンビナートのイメージは。

答 製材用のA材から合板用のB材、チップ材のC材など木材有効活用のため1か所に集積する。



木材工業団地(高知県須崎市)



栗原 義幸 (公明党)

子ども医療費無償化について
新型コロナ自宅療養者支援
防災ラジオの配布拡充について

問 市長は、本市の人口減少や若者世代、子育て世代の定住促進が喫緊の課題として、子ども医療費の18歳までの無償化を公約に掲げている。改めて、市長の考えを伺う。

答 魅力あるまちをつくるための施策として、子ども医療費の18歳までの無償化を公約として掲げ、市民へ訴えてきた。この施策は、子どもの健やかな成長と豊かな生活へつながるものと信じており、子育てのしやすいまちとして、子育て世代の定住促進に発展するものと考えている。この対象年齢の拡大は、令和4年度から実施するよう、担当部署に指示をしている。

問 飯能市では、自宅療養者への支援として、配食サービスとパルスオキシメーターの無償貸与、そして保健所と医師からの依頼のもと、酸素濃縮器の提供を開始した。一方、近隣の狭山市では、同様の取り組みの他、専用の送迎車両による帰宅支援を行っている。これは、陽性の判定を受け、保健所に自宅療養の指示を受けた方が帰宅するには公共交通機関が使えず、家族の送迎が難しい場合に必要となる支援である。狭山市同様の取り組みを本市でも検討できないか。

答 狭山市では、陰圧車による帰宅支援を行っているが、その専用車両については、地元企業からの特段の協力と経緯によるものであることから、本市では同様の支援についての予定はない。

問 防災行政無線の放送は、市民から依然として「聞こえない」、「聞こえにくい」等の声が多い。そこで、防災ラジオの戸別配布(貸与等)の拡充を視野に、市民からその必要性についてアンケート調査を提案するが検討できないか。

答 提案のアンケート調査については、現時点で考えてはいないが、防災ラジオの運用も含めて、情報の確実な伝達は非常に重要な課題であることから、今後も様々な手段を検討、研究していく。



防災ラジオ





坂井 悦子 (日本維新の会)

防災の視点からの新井市政におけるまちづくり
笠縫土地区画整理事業

問 木材価格が高騰し間伐材等の活用が注目される。間伐は、産業振興に加え、防災の面からも一層の事業強化が必要では。

答 防災・減災にも間伐の有効性は極めて高い。「西川地域スマート林業協議会」において循環型林業経営への取組が始められた。木材高騰の動向に注視し、森林資源の循環利用につなげる。

問 指定避難所である公共施設の耐震化が急がれるが、他施設の老朽化等もあり財源は厳しい。官民共用でのコスト削減による施設更新、PPPなど官民連携による手法についての考えは。

答 他市の事例を調査、研究する。

問 令和3年度当初予算では、市税収入が4億減少、市税の歳入構成比は39.5%、自主財源比率も49.8%となり、3年連続の減少。財政の余力はなく、地方債の借入と基金の取り崩しでしか歳入不足を補っていない。歳入の確保、財政の健全化、財政の立て直し、行政改革等、財政課題への市長の方針は。

答 厳しい財政状況であり、行政改革と財政健全化に取り組むことは、各施策実現の大前提。財政の健全性、行政経営の視点を念頭に取り組む。

問 冗長なインフラを防ぐ集約型都市構造、コンパクトシティの考え方は、山間地域の現状から持続可能性として検討すべき方向性ではないか。防災やライフライン確保等をどう強化するか。

答 国が推奨する「立地適正化計画」の策定を第5次総合振興計画後期計画の期間で検討する。

問 笠縫土地区画整理事業は、主要幹線の整備に目途がついたが、生活道路が未整備のエリアがあり、工事進捗に格差がある。見通しは。

答 整備が行き届いていないエリアがあることは十分認識をしている。令和4年度に完成予定の雨水幹線建設工事により、雨水排水の流末が確保できる。今後は計画的に整備を実施。



笠縫土地区画整理事業地内
未整備の生活道路



熊田 尚子 (公明党)

コロナ禍の教育相談体制の強化
通学路安全点検・対策について
危機管理体制について

問 コロナ禍が長期化し、教育センターでは、児童・生徒や保護者の不安や悩みの相談が昨年度1学期と比べ今年度は約1.8倍となっている。相談体制のさらなる強化、教育センターの相談員の増員は。

答 相談体制の強化はコロナ禍にあって喫緊の課題と認識。来年度の予算編成に当たり、まず相談員の増員を要求している。

問 千葉県八街市の事故を受けて新たに通知された「通学路における合同点検」の実施状況は。

答 今年度実施済みの調査に加え、今回の観点でリストアップされたものを基に対策案を検討、作成し庁内関係課や警察等に伝え、実施を要望していく。

問 公立保育所における防災備蓄の状況は。量や内容の検証と、計画的に十分な備えを。

答 現在1人1食分程度の備えであるが、今後段階的に備蓄品の種類や数を増やし、備えていく。

問 個別避難計画の取り組みにおいて、各関係機関、地域包括支援センター、要介護者の専門的な知識を持つケアマネジャーとの連携は。

答 どのような連携が可能であるか、庁内関係部署と検討していく。

問 本市には長期にわたる災害時に段ボールベッド、段ボールシートの協定があるが、一時避難時や到着に時間がかかることを想定し、段ボールベッドを防災備蓄として整備できないか。

答 要介護者の方などが安心して避難するにあたり有効な防災備蓄として、整備を進められるよう検討する。

問 緊急情報キットの周知・活用状況は。

答 救急活動上大変有効であると考えている。広報はんのうへの掲載や市ホームページで情報を更新し、身近なもので取り組めることを発信していく。



通学路の様子





新井 巧 (日本共産党)

運転免許証自主返納者に支援を中央公民館を山手用地に建て替え

問 県内63自治体の中で50自治体、約8割が運転免許証自主返納者に支援策を実施している。飯能市で安心して住み続けるために重要な施策の一つとして、バス代補助やタクシー利用券など検討をしてもらいたいが。

答 高齢者の足の確保は重要な課題。近隣自治体でも実施しているところもある。財政的なこともあるので研究していきたい。

問 中央公民館は耐震性がなく、雨漏りなど老朽化も著しい。また、駐車場も利用勝手が悪い。山手用地に中央公民館を移設し、児童や高齢者の複合施設として整備してもらいたいが。

答 図書館東側の約6,000㎡の土地の利活用はこの8年間検討されてこなかった。中央公民館は老朽化も激しいことから、移転も含めて、建て替えが相応しいと考えるが、市民との合意形成が不可欠であると考えている。

問 水道未給水地域の対策は重要。給水事業の補助率の見直し、電気代などの維持費の支援、技術的支援などの改善と、妻沢、中藤上郷、虎秀、瀬尾などは、上水道からのポンプアップ方式で対応できないか。

答 給水事業の補助率の見直しなどを検討するとともに関係部署と連携して進めていく。上水道からのポンプアップは水道事業経営に反映し、水道料金に影響することから補助事業を丁寧に進めていきたい。

問 市長は、市内に芸術家が多いことから、作品紹介や展示などを企画したいとの意向を示された。さらに全市的な文化・芸術家のネットワークづくりと芸術家への移住支援などの支援策も必要ではないか。

答 各種団体の意見を伺い、文化・芸術活動が進めやすい環境整備を図りながら、文化・芸術活動を支援していきたい。



駐車場から急な階段を上らなくてはならない中央公民館



大津 力 (チームはんのう)

協定について

問 フィンテックグローバル株式会社との協定と、その効果は。

答 協定の目的は、飯能市の地方創生を推進することとしている。協定による一番の成果はメッツァ建設工事が市内建設業者に発注されたこと。約57億円の工事を市内の建設事業者3社によるJVに発注し、約60社の市内企業がメッツァの建設に参画した。

問 メッツァ、ムーミンバレーパークの来園者数、メッツァ開設による経済効果額、雇用の創出状況は。

答 フィンテックグローバル株式会社の決算情報によると来園者数は、令和元年度118万7千人、令和2年度64万2千人。市においてメッツァ開業による効果額を試算したところ、93億円以上の経済波及効果があったと考えている。また、メッツァ建設にあたり西川材が、建物の構造材、内装壁などとして使用された。雇用は、令和3年1月時点で従業員が約350人、このうち約120人が飯能市民とのこと。

問 メッツァによる飯能市の知名度の向上に関する具体的な事例、それによる効果は。

答 開業からの約8か月間で、TV番組の放送として、日本テレビで55回、TBSで24回、NHK、テレビ朝日、フジテレビ、テレビ東京を含めた主要放送局で合計115回取り上げられた。ふるさと納税でムーミン返礼品を希望した寄付額の合計は、平成28年度から令和2年度までの5年間で約5億9,300万円であった。

問 今後についての新井市長の考えは。

答 メッツァとの連携により効果が最大限発揮されるということであれば、これからも引き続き、メッツァ、ムーミン物語との協力を積極的に進めていきたい。



メッツァビレッジ





武田 一宏（ネクストはんのう）

コロナ禍における学校教育
都市開発について
地域の活性化について

- 問** 2学期始業日が通常通りであった理由は。
- 答** 校内の集団感染が発生していない点、徹底した感染症予防、家庭への負担、放課後児童クラブの密を避ける等の理由で通常登校に至った。
- 問** 保護者への感染症予防の啓発は。
- 答** 緊急事態宣言中はオンライン授業も出席扱いとし少しでも体調が悪い児童生徒を休ませて頂くようお願いしている。
- 問** ワクチン接種の有無による授業形態の変化は。
- 答** 接種者と非接種者で変えることはない。
- 問** 緊急事態宣言解除後はどう変化があるか。
- 答** オンライン授業の出席扱いは停止とする。
- 問** コロナありきの学習カリキュラム作成など抜本的な改革が必要では。
- 答** 必要があると認識している。コロナ禍でも地域との繋がりを深めることができる活動を研究し、新しい学校づくりを推進していく。
- 問** 岩沢陸橋開通前に事業内容の説明会を開催したほうが良いのでは。
- 答** 開通前に行くことは勿論、早い時期に実施する。
- 問** 久下六道線整備におけるビジョンはあるか。
- 答** 単なる道路拡幅、歩道整備ではなく、中心市街地活性化に繋げ、まちの賑わいを誘発するための整備にしたい。
- 問** 久下六道線と同時に郵便局前の安全措置は。
- 答** 今回の整備区間と同様に扱うことはできないが、道路の安全性確保を検討していく。
- 問** 新井市長の目指す中心市街地像は。
- 答** 飯能駅を降りたら森林文化都市が感じられ、本市を訪れる多くの観光客が行き交う賑わいのある中心市街地を目指す。
- 問** 市街地商店の活動状況や活性化の評価は。
- 答** がんばる商店街補助事業等は商店街の収益力の向上、賑わい創出、感染症対策において大変好評であったため、引き続き支援をしていく。



がんばる商店街補助金事業
出典：全国商店街支援センター



滝沢 修（日本共産党）

阿須山中土地利用問題
検証委員会で検証すべきこと
元加治駅南口の早期開設を

- 問** 環境保護が言われる中で、山を崩してまで、この事業を市が進めるのか理解できないとの多くの市民の声がある。市の姿勢が問われるとともに今後の市政運営にも大きな影響がある。事業の判断が、どのような経緯をもって判断されたのか、また、事業者選定においても改めて検証すべきではないか。
- 答** 事業内容、また、事業者選定の他一連の事業内容について検証していきたい。なお公表の時期については適時検討していく。
- 問** 都市計画法でサッカー場が1ヘクタール以上であれば6メートル以上の道路に接しなければならない。サッカー場の管理道路やのり面などを含まず面積を9,768平方メートルとしているのではないか。また、なぜ作業用道路を別工事としているのか検証が必要では。
- 答** 面積の考え方、区域の考え方の検証が必要ではないかとのことだが、当然検証していく。
- 問** 静岡県伊豆山の土砂災害は、倒壊家屋131棟、また、尊い人命が失われる災害となった。気候変動によりこのような豪雨はどこでも発生する可能性がある。また、災害により太陽光パネルの火災もある。災害についての検証は。
- 答** 防災全般について改めて確認する。
- 問** 元加治駅南口の開設について、入間市、西武鉄道との協議を今後どのように進めていくのか。また、開設への見込みはどうか。
- 答** 元加治駅南口の早期開設については、真摯にそして着実に取り組んでいく。解決すべき課題は十分認識している。まず入間市との合意を取付け、2者協力のもと西武鉄道と南口開設の実現に向け協議を行い、一日でも早く地域の大きな期待に応えるよう積極的に取り組んでいく。
- 要望** 区画整理事業が進み、住宅建設も行われている。課題は多いが早期開設を強く望む。



早期開設が待たれる元加治駅南口





金子 敏江 (日本共産党)

飯能市に、「狭山保健所の分室」設置で逼迫する業務の負担軽減と公衆衛生機能の回復を

問 全国の保健所は1994年以降852か所から469か所に。埼玉県では28か所から13か所に統廃合され、狭山保健所管内には所沢、狭山、飯能と3つの保健所があったが狭山保健所1か所に統合され、埼玉県内の保健所の中でも管内人口78万人と最大規模の人口を抱えている。また、狭山保健所の職員数は、2005年の95名から現在の57名と職員の削減も進んだ。コロナの不安はまだ続くので、できるだけ早く狭山保健所の負担軽減と公衆衛生機能を回復させなければならない。飯能保健所の復活・再建を望むが、当面は、もともとあった埼玉県飯能合同庁舎の1階を活用して狭山保健所の分室として設置できないか、新井市長を先頭に県に積極的に要請してほしいがどうか。

答 狭山保健所では依然として新規感染者への対応、自宅療養者への健康観察、入院調整など多岐にわたる業務に不眠不休であたっており多忙を極めていと伺っている。本市としては保健師を8月に1名、9月に2名派遣して支援している。分室設置の考えだが、保健所の負担軽減や効率化をはかる観点から有効な方法であると考えている。また、昨年5月、埼玉県に対し現在の広域化による保健所体制を見直し各地域に分散された保健所機能の強化を行い、感染拡大を抑制し公衆衛生の充実に取り組むことを要望している。狭山保健所と緊密な連携をとり、市民の命と健康を守るために積極的に進めていく。



埼玉県飯能合同庁舎



パタソンひとみ (チームはんのう)

防災・新型コロナウイルス対策学校給食を生かした食サービスユニバーサルデザインの取組み

問 国道299号沿い河川の道路冠水に対する堆積土砂の掘削工事の進捗状況は。

答 東吾野橋付近を中心に掘削工事を年度内完了の見込みで準備を進めている。

問 自宅療養による家庭内感染が増えているが、野戦病院設置や宿泊施設の協力を得て感染者と非感染者を接触させない対応を提案するが。

答 野戦病院は、医療提供体制の維持が困難なため自治体規模では困難な状況。発熱外来は県から指定を受けた医療機関が13か所あり、早期受診、早期診断、早期判定に繋がる環境にある。

問 ワクチン接種に関する情報提供は、偏見や差別が起きないように取り組んでいるか。

答 市HPに厚生労働省HP等をリンクしている。コールセンターに看護師を配置し、相談に丁寧に対応している。アレルギー体質や持病があり接種できない方がいるが、接種は任意であり、差別や偏見があってはならない。差別防止の周知や啓発の対応をより一層務め適切な情報提供に努めていく。

問 新型コロナウイルス感染症収束へのロードマップを市長はどのように考えるか。

答 市民の命と健康を守ることを第一に掲げ、ワクチン追加接種を検討しており、刻々と変わる状況の中、国の情報を速やかに入手し、県や地区医師会などと連携し方向性を示す。

問 高齢者の社会的孤立問題へ地元の子もたちと同じ学校給食を配食し、地域のつながりをもたらすサービスの取組みができるか。

答 衛生管理基準が厳しく基準を満たした配送の仕組みを作る必要がある。どんな学校給食の活用ができるのか研究していく。

問 多様性のあるユニバーサルデザインの取組は。

答 久下六道線バリアフリー化も含め、居心地の良い空間にするため県土整備に要望を出している。



ユニバーサルデザイン7原則



加藤 由貴夫 (みどりの会)

市長所信表明、総合振興計画、都市計画の中の課題について教育関連問題について

問 政策変更や財源の伴う来年度の予算編成等に向けて、どのように進めていくか。

答 大きな政策変更やそれに伴う補正予算をお願いすることは考えていない。行政の継続性も踏まえた上で予算を編成する。

問 全ての政策で困難な課題を先送りし後世に残さないようにすることが必要であると思うが、市長の認識は。

答 その通りであり、私もまったく同じ考えである。

問 国・県の補助メニューの使い方については。

答 市の財政負担を抑えて事業を実現するということはとても重要である。国・県の各機関とも連携し、最も効果的な財政運営に取り組んでいく。

問 飯能市の総合振興計画基本構想に基づく実施計画などに大きな変更はあるか。

答 最大限順守すべきものと認識している。ただし、重要課題は集中して取り組む。

問 原町・前田・中山地内の都市型内水氾濫防止対策についての進捗現状は。

答 抜本対策の貯留施設は浅間に設置した貯留浸透施設の約8倍の大きさの容量が必要となる。埼玉県の助言をいただきながら検討している。軽減処置は藤田堀下流の下水道管渠の流下能力を確保するスクリーン設置に向け調整中である。

問 土地区画整理事業見直し後の施工期間を守るため更なる事業加速化が必要だが市長の認識は。

答 事業期間を守るために、責務をしっかりと果たさなければならないと強く心に感じている。

問 吾野小学校の跡地利用について市長の考えは。

答 事業者とまちづくり委員会との協議はもとより吾野地区の合意形成を丁寧に進めてほしい。

問 老朽化したホッケー場の改修についてどのように考えているか。

答 課題等を整理し、また財源確保の研究等も含め、進めていきたい。



ホッケーのまち飯能



野田 直人 (みどりの会)

岩沢共有地と阿須山中について

問 阿須山中とは、場所こそは阿須地区だが、元々、所有者は岩沢地区にお住いの116人が共有しており、そのような意味で岩沢共有地と呼ばれていた。岩沢共有地は、阿須山中、阿須要害沢、岩沢字河原、岩沢字中河原の4か所の土地だったが116人もの方が共有していた土地でもあるので、その土地の利活用、運用については様々な利害関係が生じるなど難しい問題があったようだ。その後、飯能市土地開発公社では、総額約42億3千万円で岩沢共有地のすべてを先行取得し、飯能市では随時買戻しを進め、阿須山中を除く3か所は、市民体育館、市民球場、トーベ・ヤンソンあけぼの子どもの森公園などとして活用されてきた。阿須山中の土地だけ何の利活用もされないまま、いわゆる不良債権となっていたが、民間活力を導入しこの土地の利活用を図ろうというのが阿須山中土地有効活用事業だと思う。市長は防災や自然保護の観点から、自身の目で検証を行うということだが、事業地である阿須山中19ヘクタールの土地だけの問題とは思えない。目の前の事象だけにとらわれることなく、長年の経緯を踏まえ、本市発展の将来をも見据え結論を導いていただきたいが。

答 岩沢共有地、阿須山中の土地をめぐる今までの経緯は、野田議員の話のとおりである。阿須山中土地有効活用事業について、長年の経緯を踏まえ、本市発展の将来を見渡し、結論を導いていただきたいとのことだが、市民の中には、いまだこの事業にご理解をいただいていない方や疑問に思っている方がいる。今まで埼玉県林地開発の許認可手続き等、正規の手続きにより進められてきた事業ではあるが、防災、自然保護の観点から私なりに検証し、できる限り早期に結論をだし、その上で市民の皆様にご説明していきたいと考えている。



トーベ・ヤンソンあけぼの子どもの森公園



市議会から
国等へ提出

意見書

議員提出議案として提出され、議会の議決を得て国等へ提出したもの。

出産育児一時金の増額を求める意見書

厚生労働省によると2019年度の出産費用が正常分娩の場合、全国平均額は約46万円、室料差額等を含む費用の全国平均額は約52万4千円となっている。出産にかかる費用は年々増加し、費用が高い都市部では現在の42万円の出産育児一時金の支給額では賅えない状況になっており、平均額が約62万円と最も高い東京都では、現状、出産する人が約20万円を持ち出している計算となる。

国は、2009年10月から出産育児一時金を原則42万円に増額し、2011年度にそれを恒久化、2015年度には一時金に含まれる産科医療補償制度掛金分3万円を1万

6千円に引下げ、本来分39万円を40万4千円に引き上げた。2022年1月以降の分娩から産科医療補償制度掛金を1万2千円に引下げ、本人の受取額を4千円増やすとともに、医療機関から費用の詳しいデータを収集し実態を把握したうえで増額に向けて検討することとしている。

一方、令和元年の出生数は86万5234人で、前年に比べ5万3166人減少し過去最少となった。少子化克服に向け、安心して子どもを産み育てられる環境を整えるためには、子どもの成長に応じたきめ細かな支援を重ねていくことが重要であり、一時金はその大事な一手であると考えられる。

少子化対策は、我が国の重要課題の一つにほかならず、子育てのスタート期に当たる出産時の経済的な支援策を強化することは欠かせない。

よって、国におかれては、現在の負担に見合う形に出産育児一時金を引き上げること強く求めるものである。

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣あて



市議会を傍聴される皆様へ

議案綴の配架を開始しました

9月定例会から、傍聴者閲覧用として議案綴を3部ご用意しておりますのでご利用ください。

請願・陳情の提出方法について ……市民の声を市政に……

署名簿(例)

住所	氏名	印

本文(例)

〇〇〇に関する請願
(趣旨) ……………
……………
……………
以上、地方自治法第124条の規定により請願いたします。
令和年月日
住所
氏名
紹介議員 ◇◇◇◇
同 ▼▼▼▼
同 □□□□
飯能市議会議長 〇〇〇〇様

市政などについての意見や要望を議会に提出することができます。このことを請願または陳情といいます。
請願は、紹介議員(2名または3名)が必要で、議会の審査対象となり、担当の常任委員会で慎重に審査し、本会議において採決を行います。
陳情は、紹介議員は必要ありませんが、原則として議会の審査対象にはならず、議場に陳情の写しを配付するのみとなります。
なお、住所・氏名・内容等が市議会などより等で公開されますので、「ご了承ください」。

※書式例(請願の場合) A4版縦書きでも可。提出者、署名者は住所、氏名(署名または記名押印)をお願いします。

市議会案内板

HANNO

お問い合わせは

議会事務局またはホームページで

TEL 042-973-2686

<https://www.city.hanno.lg.jp>



新型コロナウイルス感染症対策に係る要望書を提出

審議の日程

9月定例会

- 9月 3日 開会
市長提出議案の上程・提案理由説明
- 8日 議案質疑、議案の委員会付託
- 10日 常任委員会（総務教育・経済建設）
- 13日 常任委員会（総務教育・経済建設）
- 14日 常任委員会（生活福祉）
- 15日 常任委員会（生活福祉）
- 17日 一般質問
- 21日 一般質問
- 22日 一般質問
- 28日 委員長報告・質疑・討論・採決
市長提出追加議案の上程・提案理由説明・質疑・討論・採決
議員提出議案の上程・提案理由説明・採決
閉会

議会日誌

7月

- 7日 広報委員会
- 15日 山間地域活性化PT会議
- 20日 埼玉県都市競艇組合議会臨時会
- 30日 埼玉西部消防組合議会定例会

8月

- 17日 代表者会議
- 19日 広域飯能斎場組合議会定例会
- 24日 全員協議会
広報委員会
- 31日 議会運営委員会

9月

- 3日 第4回定例会（9月28日まで）
広報委員会

10月

- 4日 山間地域活性化PT会議
- 8日 広報委員会

☆インターネットで視聴・閲覧できます

◆ 一般質問 ◆

飯能市議会録画

検索



◆ 会議録 ◆

飯能市議会会議録

検索



(9月定例会の会議録は11月中旬頃公開予定です。)

次回の12月定例会は

11月26日開会予定です。

会期日程等は11月22日頃内定します。

* 編集を終えて *

こんにちは。副委員長の武田です。新型コロナウイルス感染症が流行してからもうじき2年。例年ならば祭りばやし聞こえてくる時期ですが、今年も静かな秋になりそうです。世間は新型コロナウイルス感染症の話題で溢れ、これまでコロナ不安を煽っていたメディアは、気づけばワクチン接種の不安を煽るようになっていました。江戸時代には牛の膿から作られた天然痘のワクチン接種を普及させようとした際『摂取すると牛になる』という噂が広がり、中々浸透しなかったという話があるように、いつの時代も新しいものに触れる際は不安がついてまわります。超情報化社会の到来により様々な情報が簡単に手に入るようになりましたが、負けじと私たちも常に進化をし続け、日々の不安が解消されるような情報発信をしてみたいです。 (武田)

広報委員(◎委員長 ○副委員長)

◎内田 健次 ○武田 一宏 長谷川 順子
パタソンひとみ 栗原 義幸 滝沢 修

戸田競艇場開催日(埼玉県都市競艇組合主催分)
11/3~11/7、11/17~11/22、11/27~11/30、
12/10~12/13

お問い合わせ先

埼玉県都市競艇組合事務局 TEL 048-823-8711

(収益金の一部は飯能市の収入となり、市の事業に活用されています。)